

特別国民体育大会（鹿児島） 愛媛県代表選手選考基準

1 選考の対象とする記録

- (1) 選考の対象となる記録は、2023年1月1日から8月6日（17：00）までとする。
- (2) 1ー（1）に定める期間内の、公認最高記録を対象とする。
- (3) 競歩はトラックレースの記録とし、ロードレースの記録は対象としない。

2 選考順序

- (1) A・Bの標準記録の段階に分けて、下記①、②を選考基準の順序とする。
 - ① A標準記録突破者（A標準記録とは全国大会上位入賞可能レベル）
 - ② B標準記録突破者（B標準記録とは全国大会決勝進出可能レベル）
- (2) 上記までの選考基準で下記①、②の場合は、以下の項目をもとに、「鹿児島国体」で入賞できる可能性が高い選手を強化委員会として推薦する。

① 同種目に同じ段階の標準記録突破者が複数いる場合

- ア) 成年種目は、当該年のベスト記録によって選考する。
- イ) 少年（A・B・共通）種目は、以下の順で総合的に判断し選考する。
 - a 全国大会での入賞実績
 - b 当該年の総体など各上位進出大会及び上位進出ラウンド
 - c 当該年のベスト記録

② 2ー（1）、（2）で選考された選手が参加上限の29人を越える、または満たない場合

- ア) 参加上限を越える場合は、A・Bの順序で標準記録突破者の中から推薦するとともに、同ランクで優劣をつける場合は、当該年のベスト記録を、2023年全国ランキング及び前年度までの国体出場者ランキング、結果などで比較し選考する。
- イ) 参加上限に満たない場合は、当該年のベスト記録を、2023年全国ランキング及び前年度までの国体出場者ランキング、結果などで比較し選考する。

ウ) 成年選手で標準記録を突破していない者は、基本的には選考対象にならない。ただし、「男女混合4×400mR及び男女各4×100mRに参加するための種目」に関しては、別途審議する。

エ) ②ーア)、イ) とともに、記録やランキングが同程度の場合は、以下の順で選考する。②ーウ) に関しては、各リレーチームの編成を考慮し、別途審議する。

- a 少年Bの種目
- b 少年A及び少年共通の種目
- c 男女混合4×400mR及び男女各4×100mRに参加するための種目
(300m、400m及び100mの標準記録に近い全国ランキング上位者)

3 補足

- (1) 上記（2 選考順序）で上位でありながら辞退者が出た場合は、次点以降の選手が選考の対象とする。本大会への出場申込み後の選手変更に関しては、当該種目でのみ認められている。
- (2) 国体に参加する意思のある選手は、国体選考対象大会である以下の大会において、国体の当該種目に必ず出場しなければならない。（参加申込のみや欠場は不可）

- ・ 第1回えひめ記録会（4／15・16）
- ・ 各地区選手権（5／13・14）
- ・ 県高校総体（6／3・4・5）
- ・ 国体記録挑戦会（6／25）
- ・ 中学通信陸上（7／8・9）
- ・ 愛媛選手権（7／8・15・16）
- ・ 県中学総体（7／22・23・24）

ただし、成年男子 10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経たものでもよい。また、日本陸連から指定されている世界大会等の予選会免除対象大会に出場する選手や「特例措置」に該当する選手については、この限りではない。

- (3) 国体に出場する意思があり、下記①、②に該当する選手は指定日（2023年8月7日・月曜日）までに愛媛陸上競技協会事務局に「国体選考選手調査票」（愛媛陸上競技協会ホームページ上）を必ず提出しなければならない。
- ① A・Bの標準記録を突破した選手
 - ② B標準に近い記録を出した選手で強化委員会より書類の提出を求められた選手
- (4) 8月5、6日に記録突破に挑戦している選手（全種別）は、事前に国体に出場する意思を強化委員長まで知らせておくこと。意思を示していない選手は選考の対象とされない。
- (5) A・Bの標準記録は過去5年間の全国ランキング（各種別）及び国体出場者ランキング、各種全国大会結果記録などにより強化委員会が設定する。
- (6) 国体選手選考は、8月7日以降の強化委員会で推薦者原案を作成し、その後に開催される理事会において承認を得て決定する。
- (7) 最終決定後、故障等のため県代表選手として出場が困難になった場合や、十分なパフォーマンスを発揮できない場合は、選手変更を行うので必ず申し出なければならない。変更選手は上記基準に当てはめ強化委員会で原案を作成し、理事会の承認を得て決定する。（選手変更は本国体監督会議当日まで）